

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0202013

政策目標	5	ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	24	効果的・効率的な行政経営	事業優先度	A		
単位施策	1	計画行政の推進	政策事務分類	1	単独自治事務(例規)	
事業名	第5期総合計画後期基本計画策定事業		見直し年度			
事業期間	平成23年度～平成24年度		担当課	2	財務企画課	
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	後期基本計画の策定		関係課	#N/A		
事業目標	1計画		ハード/ソフト事業区分	2	ソフト事業	
住民参加 住民協働	1	住民アンケートの実施及び策定審議会の設置	関係例規・法令名	1		議会の議決に付すべき事件を定める条例
			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容
計 画 内 容	○第5期総合計画後期基本計画の策定					
	<ul style="list-style-type: none"> ・町民アンケート ・策定審議会委員の公募及び選考 ・策定審議会の設置 ・まちづくり講演会 					
計 画 事 業 費	事業費(千円)	6,064	0	0	0	4,966
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	6,064				4,966	1,098
実 績 事 業 費	事業費(千円)	5,316	0	0	0	2,924
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	5,316				2,924	2,392
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	地域づくりアドバイザー 事業助成金	【評価・実績】				
			※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
						※前年度評価結果 A-継続/拡充
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値				
	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	59%	218%
	全体達成率	0%	0%	0%	48%	88%
	事業進捗状況				☆☆☆☆	☆☆☆☆

事業名	第5期総合計画後期基本計画策定事業	評価者 管理職 職氏名	財務企画課長	佐々木 幸博
		評価者 作成者 職氏名	企画調整係長	大水 寛仁

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	全町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	1計画								
【抱える課題やニーズは】	前期計画の検証や町民の声、識者の助言・分析等に基づいた後期計画への反映	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	実効的な後期計画の策定	①	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1計画</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1計画</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	1計画	実績値	1計画	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	1計画										
実績値	1計画										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	地域産業の振興、保健・医療・福祉の充実、教育文化の振興、生活環境・生活基盤の充実、協働によるまちづくりの推進を図り、確かな地域力を育むことによって長期的に安定した町づくりを実現する	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	策定審議会の設置開催	町民26人からなる策定審議会を設置、町長から諮問を受け、審議会を5回、専門部会を6回開催し計画答申を行った									
	策定業務委託	専門性や客観性を必要とする後期計画素案の策定業務について、シンクタンクへの業務委託を行った									
	計画策定、計画書発行	計画答申内容を特別職・管理職で構成する策定推進本部にて承認し、議会上程、審査特別委員会に付託され3月議会にて可決となり、後期基本計画書を発行した									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	策定審議会は町条例に基づくものであり、町民目線での計画審議、策定委託業務は専門的視点も取り入れた後期計画を策定するために必要である
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
必要/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	策定審議会の設置開催及び策定業務委託は町民意見の反映や計画案の作成に有効に機能した
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	策定までの時間的制約がある中で、審議会委員や識者、研究機関等、専門家の視点も必要であり、報酬や委託料等について予算の範囲内で業務遂行した
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

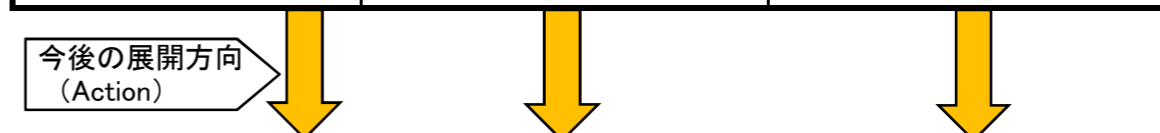
公平	判断の理由	全町民を対象とする事業であり、また、審議委員選考にあたっては、町条例や公募指針に基づき、各分野における幅広い町民の中から選考しており公平である
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
前期計画の継続を基調としつつも、町民や第三者的立場の意見を取り入れ、様々な情勢に応じた計画を策定することができた		



終了		
(第6期計画策定に向けては、策定根拠となる条例の制定が必要となる)		

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止